

7. 迅速で柔軟なCACの対応を評価

— 今後の展開などがあれば、教えてください。

現在、新しく開発している基幹システムについても enterpriseCloud+を利用してAWS上で運用を予定しています。

そのほか、オンプレミス環境で運用している既存のシステムに関しては、AWSに移行できるものに関しては、順次移行を進めていく予定です。

— 最後に、CACへの要望や期待があればお聞かせください。

CACの対応は、迅速で柔軟な対応で助かります。また、AWSに対する知見が優れているだけでなく、クラウドやセキュリティなど幅広い分野に関しても経験と知識があるので、とても頼りになる存在です。

今後、AWSのさらなる活用やシステムの移行を進める中で、CACに頼らなければならない場面は増えていくはずです。enterpriseCloud+の機能と使い勝手の向上はもちろん、これまでと変わらないサポートを期待します。

株式会社東急エージェンシー様、本日はお忙しい中、

貴重なお話をありがとうございました。



enterpriseCloud+に関するお問合せは、弊社担当営業または下記までご連絡ください。

CAC 株式会社シーエーシー

◎ 株式会社東急エージェンシーのURL <http://www.tokyu-agc.co.jp/>

※ アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、Amazon VPC および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※ QuiX はベーステクノロジー株式会社の登録商標です。

株式会社東急エージェンシー

「enterpriseCloud+は、管理コンソールの操作が容易で、機能も充実しています。オプションサービスで、BYODもスムーズに実現できました。」

株式会社東急エージェンシー
コーポレート本部 経営企画室付
ICT推進部 専任部長 後藤三幸氏
株式会社東急エージェンシー
コーポレート本部 経営企画室付
部長 石川雅浩氏



東急グループの広告会社「株式会社東急エージェンシー（以下、東急エージェンシー）」では、アマゾン ウェブ サービス（以下AWS）上で稼働するグループウェアのサーバーインフラ運用にenterprise Cloud+とオプションの端末認証サービスを利用しています。

導入の経緯と効果について、株式会社東急エージェンシー コーポレート本部 経営企画室付 部長 石川雅浩氏（写真右）とコーポレート本部 経営企画室 ICT推進部 専任部長 後藤三幸氏（写真左）にお話を伺いました。

1. 顧客のビジネスにコミュニケーションを通じて貢献する「東急エージェンシー」

— 東急エージェンシーについてご紹介ください。

東急エージェンシーは、1961年に東急グループの広告会社として設立されました。おかげさまで、2016年には創立55周年を迎えます。

交通、不動産、流通、レジャー、ホテルといった東急グループの各事業を品質の高いマーケティングソリューションで支えると同時に、東急グループ以外のお客様に対しても、マスメディア、屋外広告、博覧会などのイベント、販促支援といったコミュニケーション領域において事業展開に貢献し、生活者の驚きや感動を創り続けていくことに取り組んでいます。

2. 初めてのAWSの運用にCACのenterpriseCloud+を活用

— enterpriseCloud+を利用しているシステムについて教えてください。

AWSの導入、運用、監視にCACのenterpriseCloud+を利用しています。

現在、AWS上には社員約1,000人で利用しているグループウェアを中心に、関連システムや開発環境など約20の仮想サーバーが稼働しています。

今回、東急エージェンシーとしては、初めてサーバーインフラにクラウドを採用しました。当然、AWSの利用も初めてとなります。

また、enterpriseCloud+のオプションサービスである

